



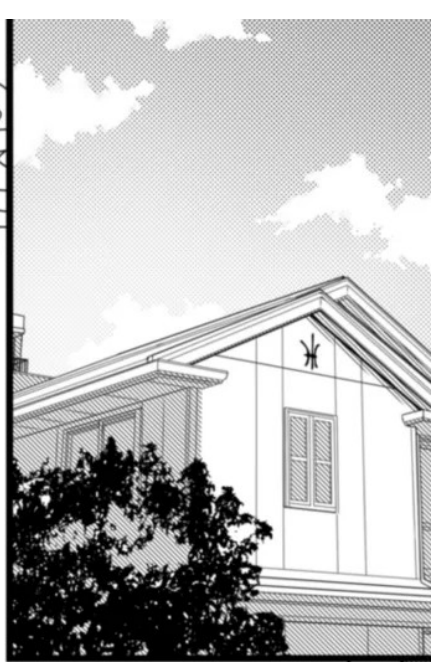




あたし

よしっ

髪型も
メイクも
ばっちり!

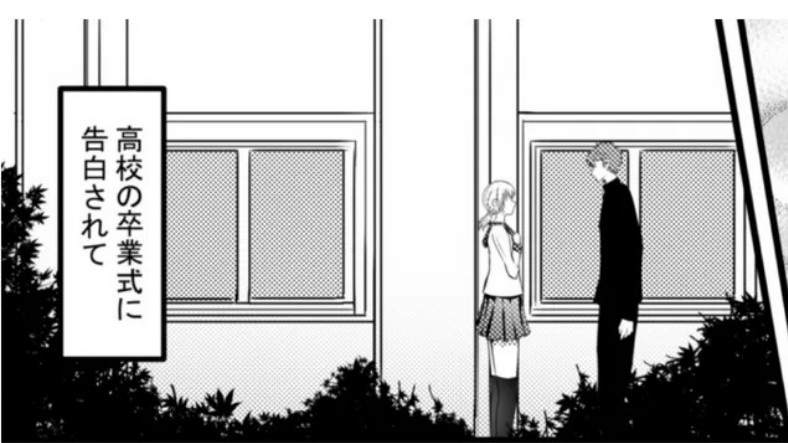


いろは
彩春こなみは

先週幼なじみの
彼と――



初えっち
しちゃいました

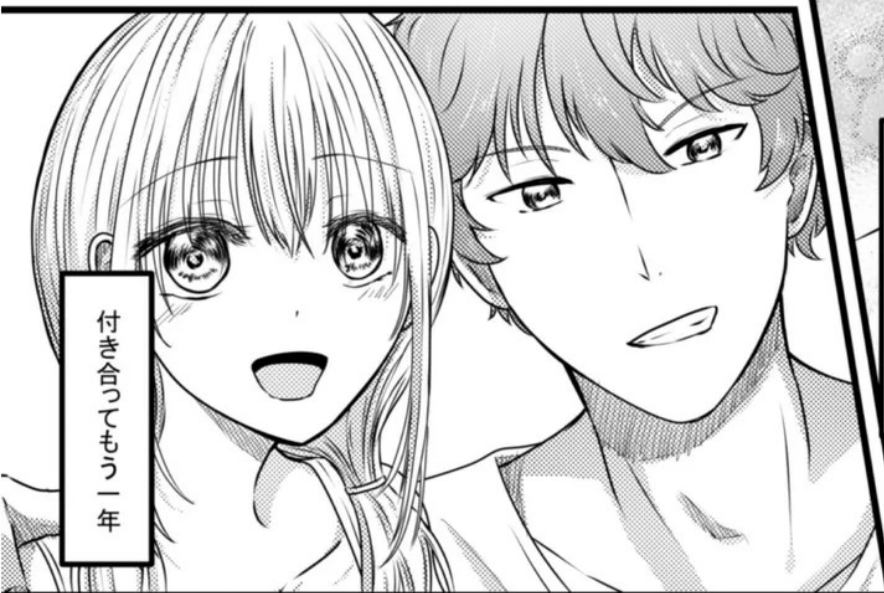


高校の卒業式に
告白されて



ずっと好きだった
幼なじみの彼

おおくししょうや
大串翔也君



付き合ってもう一年



でもいいのかな？

こんな声がでない
あたしなんて



そして多分今日も
翔也君と――



小学校低学年の頃から
声がだせなくなったって
いうのは覚えてるけど

何がきっかけだったのかは
覚えていません



心因性失声症

それがあたしの
患ってる病気

※心因性失声症とは心理的な負担やストレス
によって引き起こされる病気で
声帯や筋肉には明確な問題がないのに声が
だせなくなる状態



多分...この後しちゃうんだろう...!!

それに



どうしよう

そわ

そわ

そわ

勉強会ってことで
集まったけど

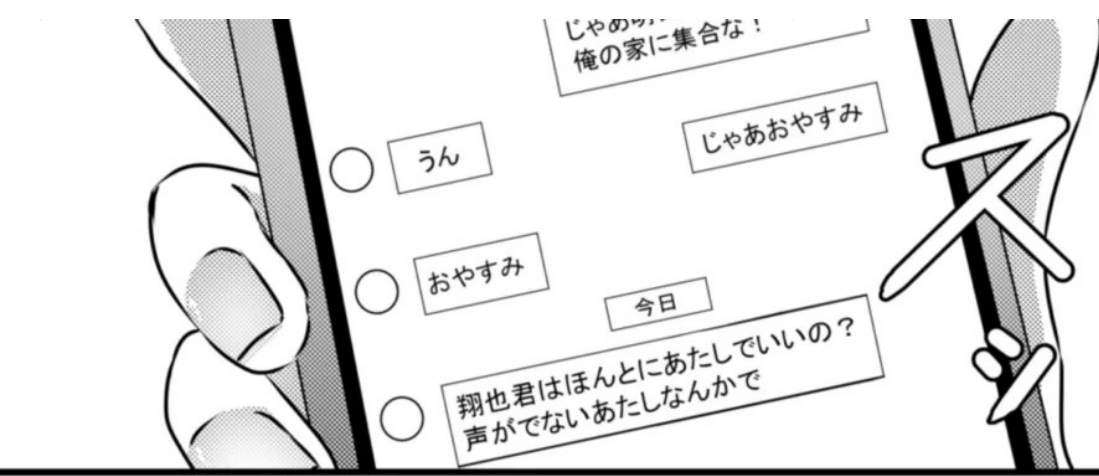
そわ



全然集中できないよ...!!



いー...





俺はこなみが
好きなんだ!

翔也君……



こなみ…俺…

はあ

はあ



ほ

っ

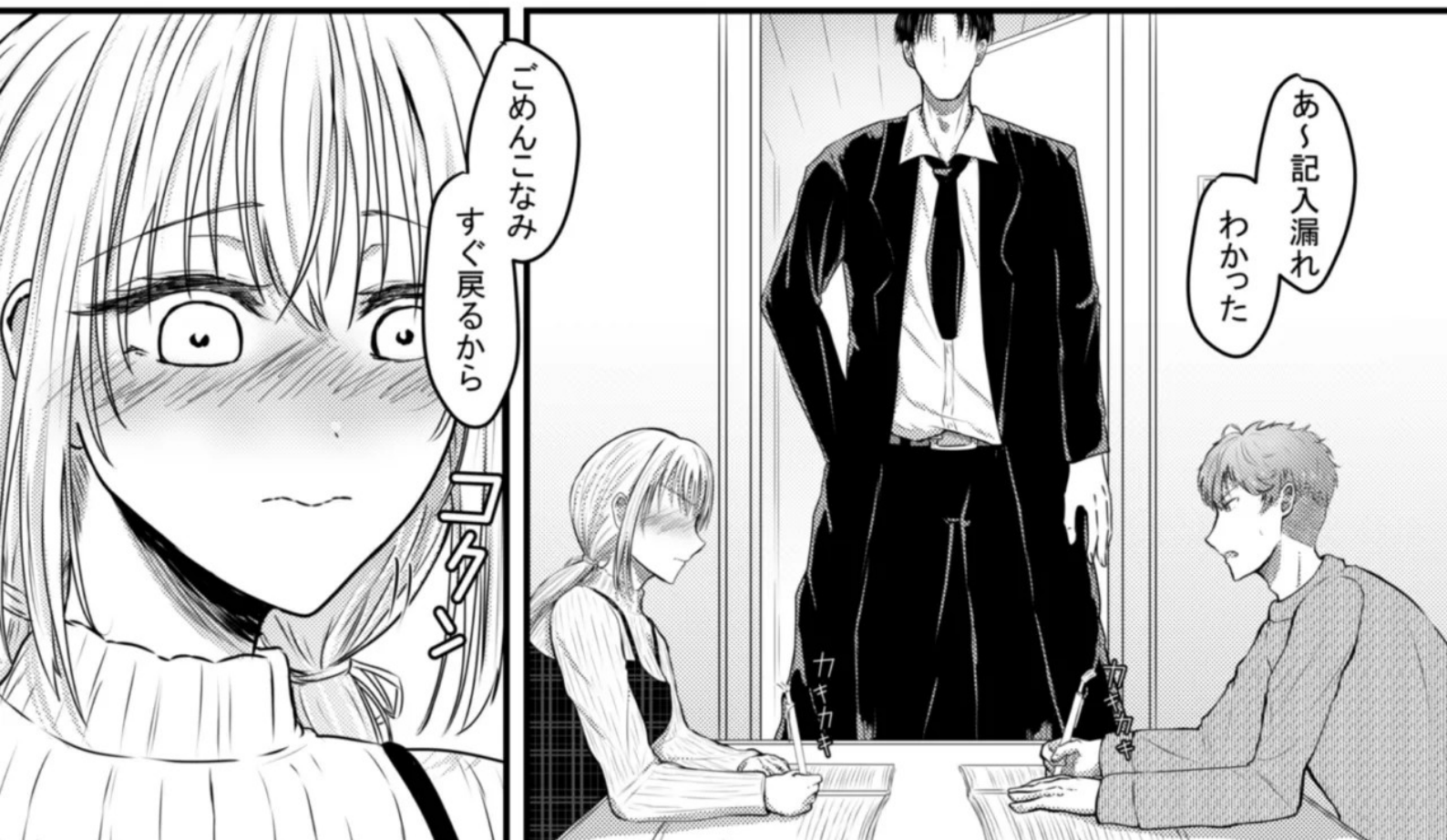


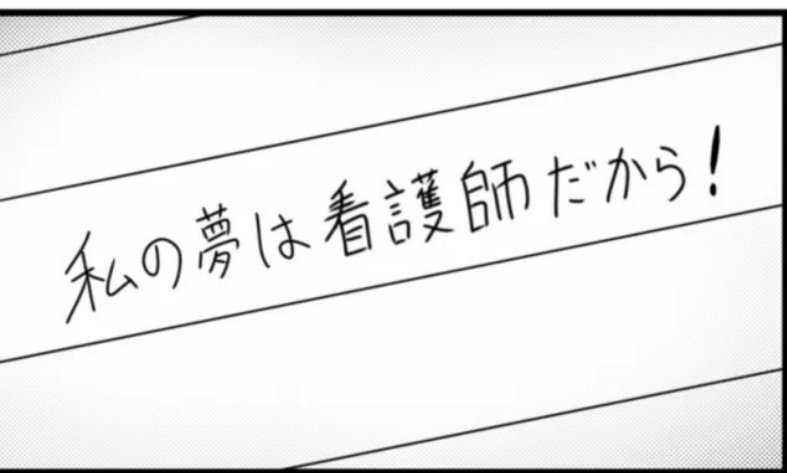
ちゅ♡

好きだよ



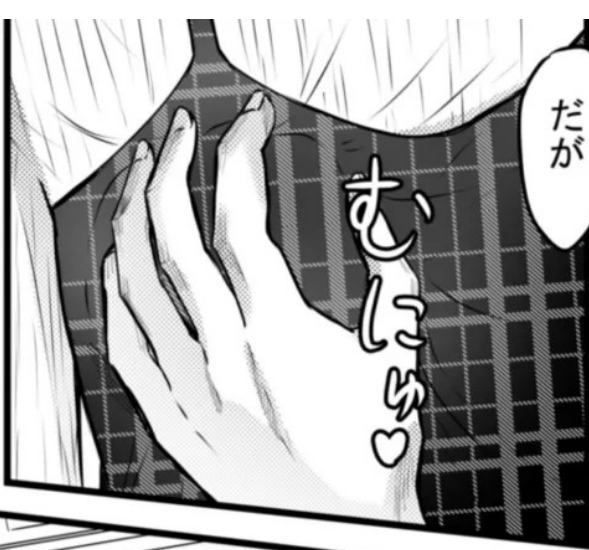
あたしも…







えい？



むにゅ♡



だが

ニヤリ

そうだったな



勉強に集中したほうがいいんじゃないのか？

看護師を目指しているのなら

セックスより

おじさんなんで私の胸触って…



困惑しているな

見せたほうがはやいだろう



見せるって何を？



それに今…

セックスって



これって先週のあたしたちり!!

気持ちいいよ

こなみ

なんで...あの日はあたしと翔也君の二人きりだったはずなのに



好きだ!

こなみ!



そんな...どうしてそんなこと



疑問におもっているな?

この部屋には隠しカメラがいくつもある

お前たちを監視するためにな



犯したかったんだ

俺はなこなみ昔からお前を

え?



ほんとにお母さん
あたしのこと……

うそ……



逃げないと!!



これは
いらんな

え?



逃げようと
するんじゃない

嫌だ怖い……



声が出ない分身体で
表現してもらおうか

やめておじさん!!

痛い……痛いよ……!!

お前は今
何を思っているのか

明日、こなみを犯すが
問題ないな?

いいわよ、私の時みたい
にあの子にも快樂をたくさん
教えてあげてね
そして今度私とも……

こなみを犯した後ホテルに
行こうか

楽しみにしてるわ





道具を使ってして
いたとは想像も
していなかった

初めて見たときは
驚いたよまさか
こなみが



いや...



嘘...これあたし...!!
なんでおじさんが

かかかかかかかかかか

まさかあたしの
部屋にも...



だが道具は俺の
寝室にあつてな

今離れると逃げて
しまいそうだからな

当たり前だよ...でも
怖くて足...動かない

なで...

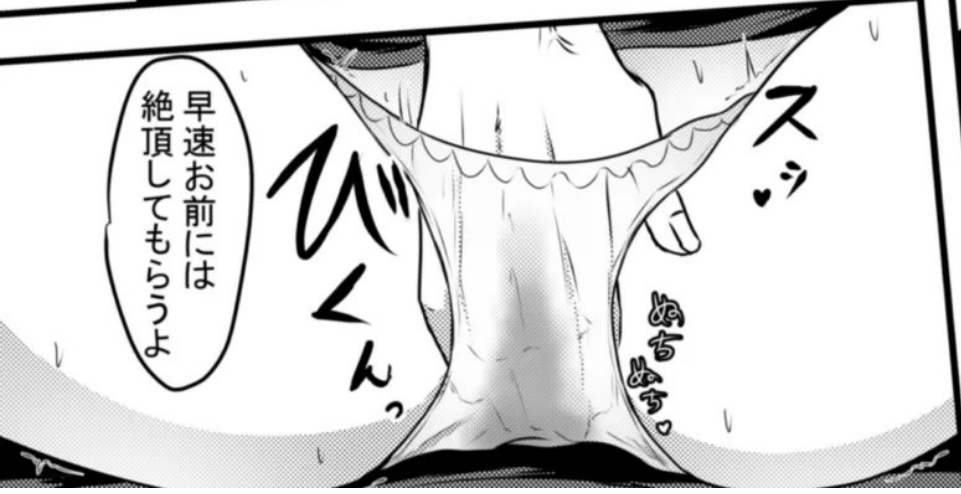
なで...



怖い...

だから今日は道具も
用意している

思う存分
楽しむといい



早速お前には
絶頂してもらおうよ

スシ

ひくん

ぬちぬち

すんなり
入ったな

こなみはこっちも
優等生みたいだ

ぐちよ

ぐちよ

おじさんの指おつきい……

ぐちよ

ぐちよ

だめ！気持ちいいと
触られてる

普段からバイブや
ローターを使っ
てるからか

もう感じているのか

あるいは最近始めた
デイルドオナーの
おかげか？

知られてる……
あたしの仕方

いやだ……恥ずかしいよ……

お前にいいことを
教えてやる

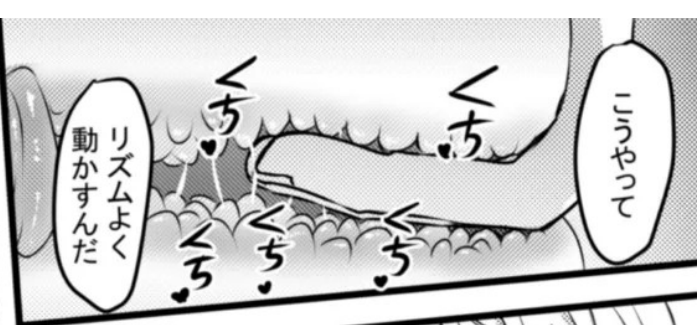
指はガシガシ入れれば
気持ちいいという
わけではないんだ



だめだめだめ



慣れたら指の
速さをあげる



こっやって

リズムよく
動かすんだ



これやだ...

はぁ

だめえ...



ぐちゃ

どうだ？お前がいつも
しているのとは違うだろ？

指はただ激しく動かせ
ばいいというものでは
ないんだ



い

ぐん

あたしおしさんに
いかされちゃった

あたしには翔也君が
いるのに

ジッポッポッ

オッポ

違う
いまそんなこと
考えてる場合じゃない

逃げない!!

……

往生際が
悪いな

悪い子には
お仕置きだ

一度気絶するまで
終わらせないからな

ぬちやふ

嫌だ怖い

やめて
おじさん!!

クッ
ホッ

!?



いきたくない!!
おじさんの手でなんて
いきたくない...のに!!

やだやだやだやだ!!



これだめ...いや...!!
すぐいつちやうよおお!!

いきたくないのに!!

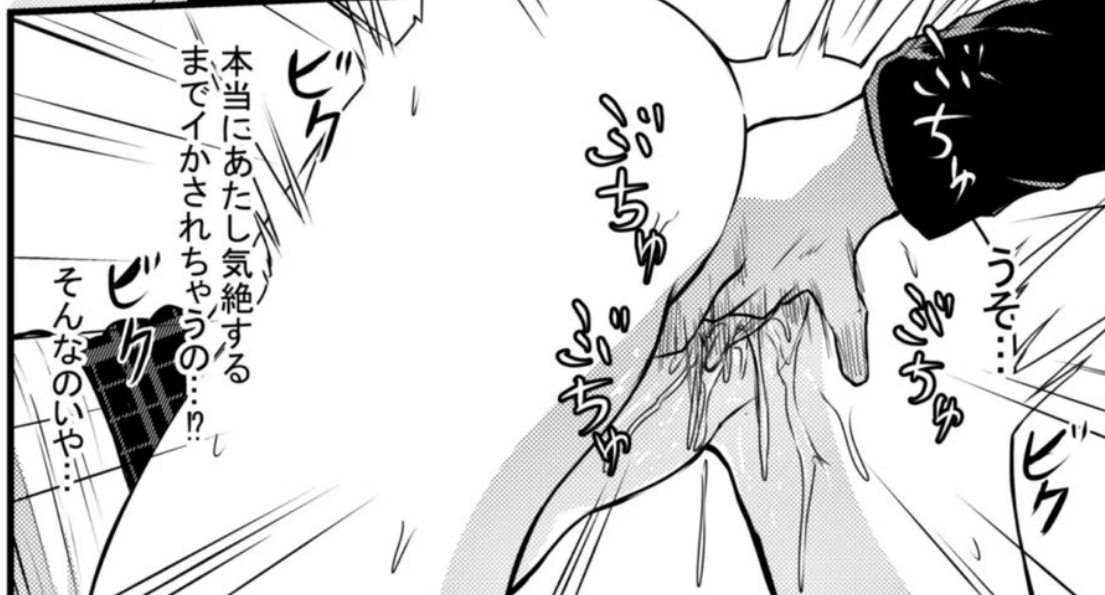


だめ...ついつく...!!

今いつてるから
やめてええええ!!

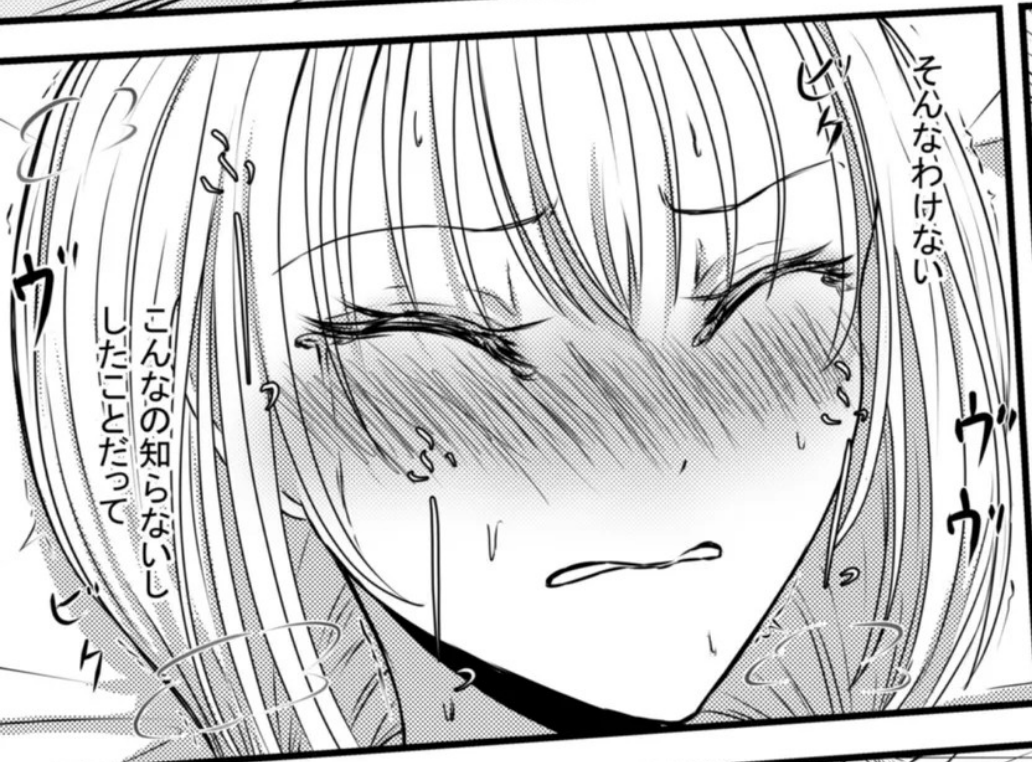
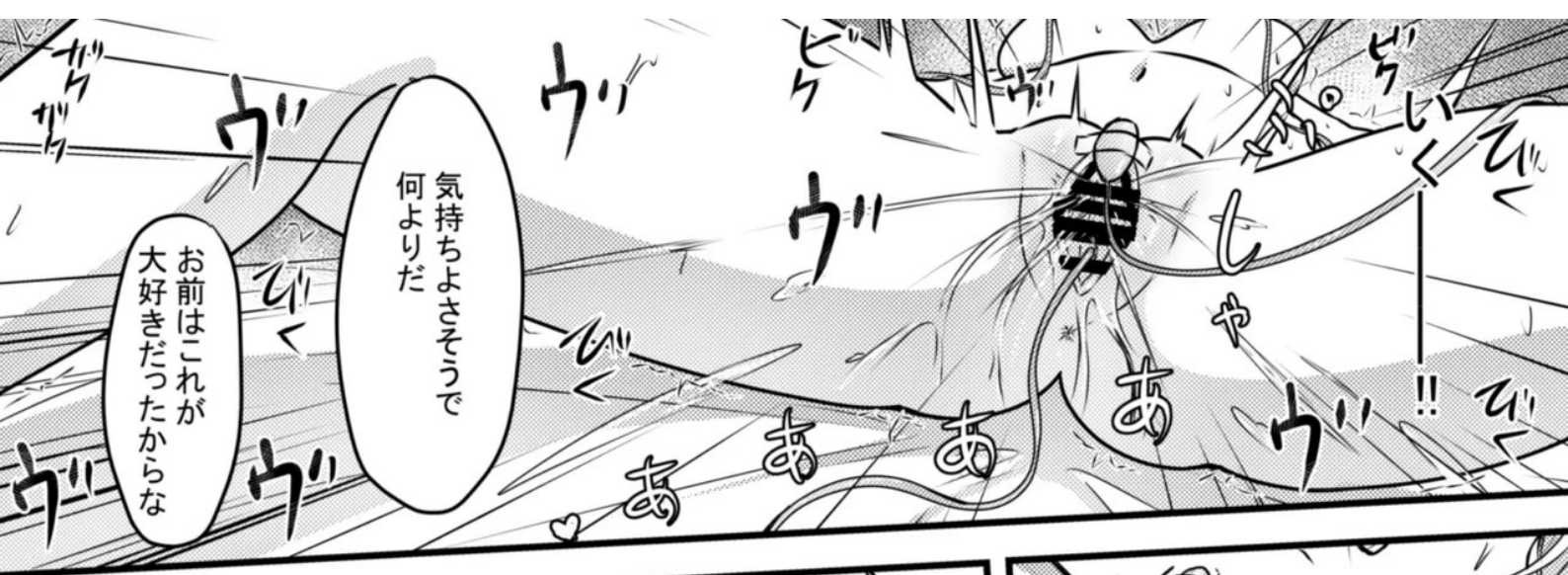


嫌あああああ!!



本当にあたし気絶する
までイカされちゃうの...!!

そんなのいや...





俺の肉棒をくわえて
もらわないといけない
からな

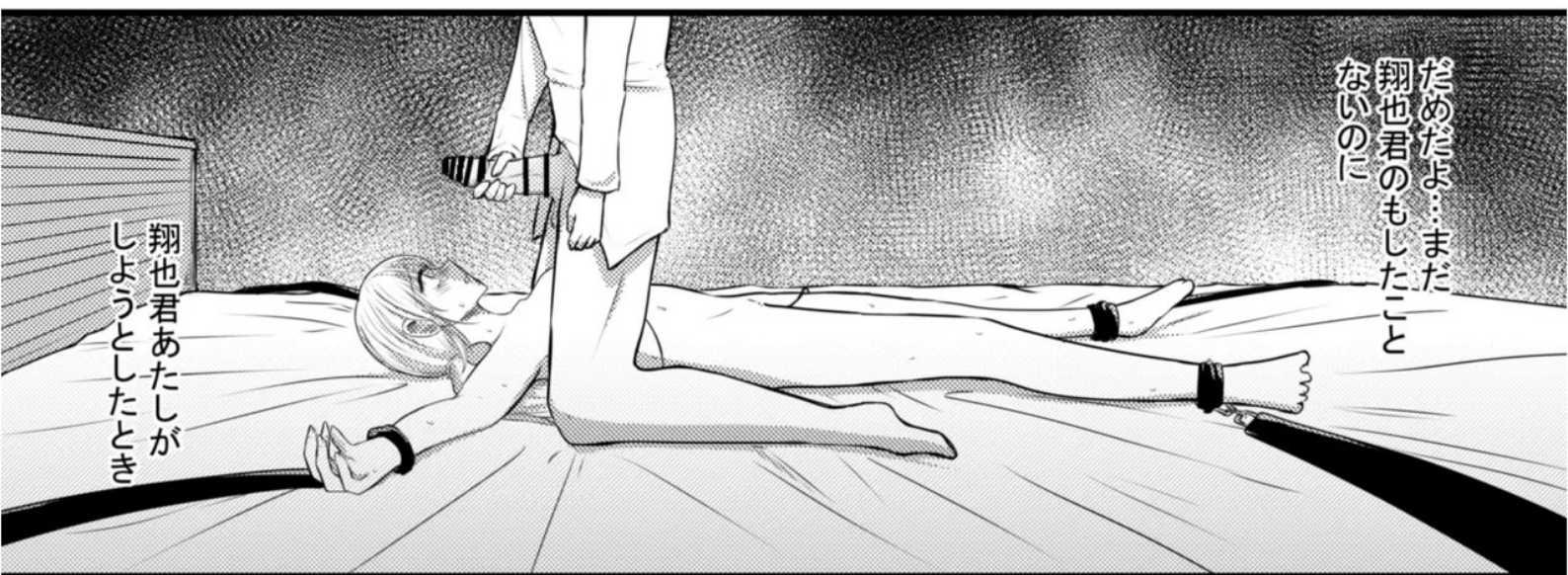
ぽんっ



また気絶しそうに
なっているな

カチ

だがもうだめだ
お前には

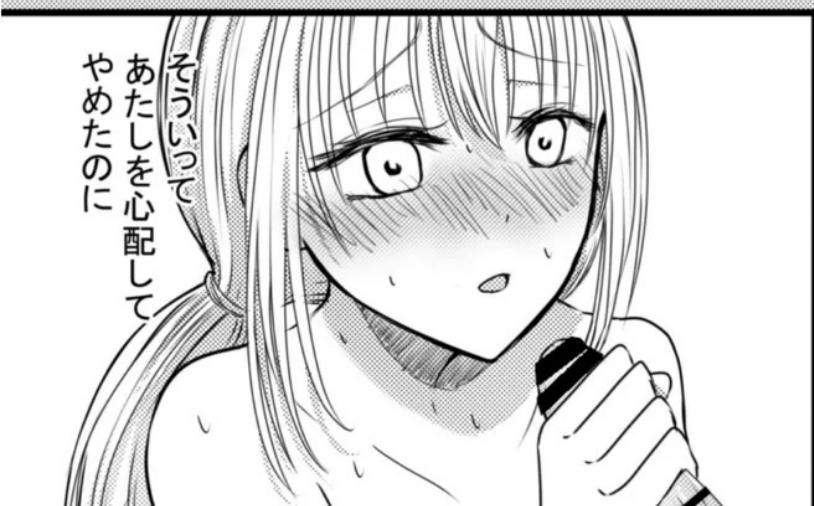


だめだよ…まだ
翔也君のもしたこと
ないのに

翔也君あたしが
しようとしたとき



喉を傷つける
かもしれないから
やめよう



そういつて
あたしを心配して
やめたのに



こなみ…それは
うれしいんだけど

病気の正体が
わかってないからさ

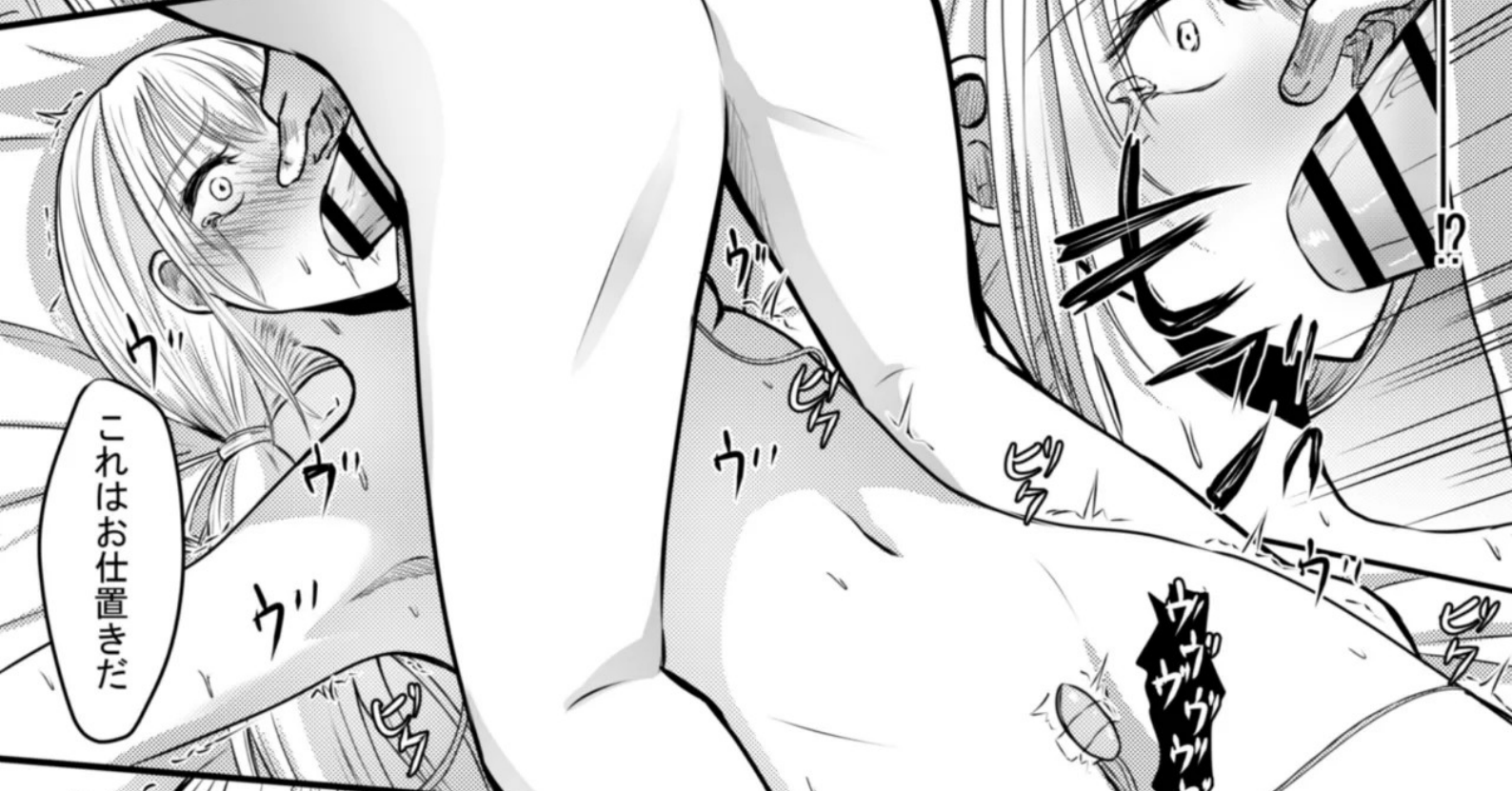


はあ
はあ
もう無理!!

苦しい...

だめ...息できない

...!?



これはお仕置きだ

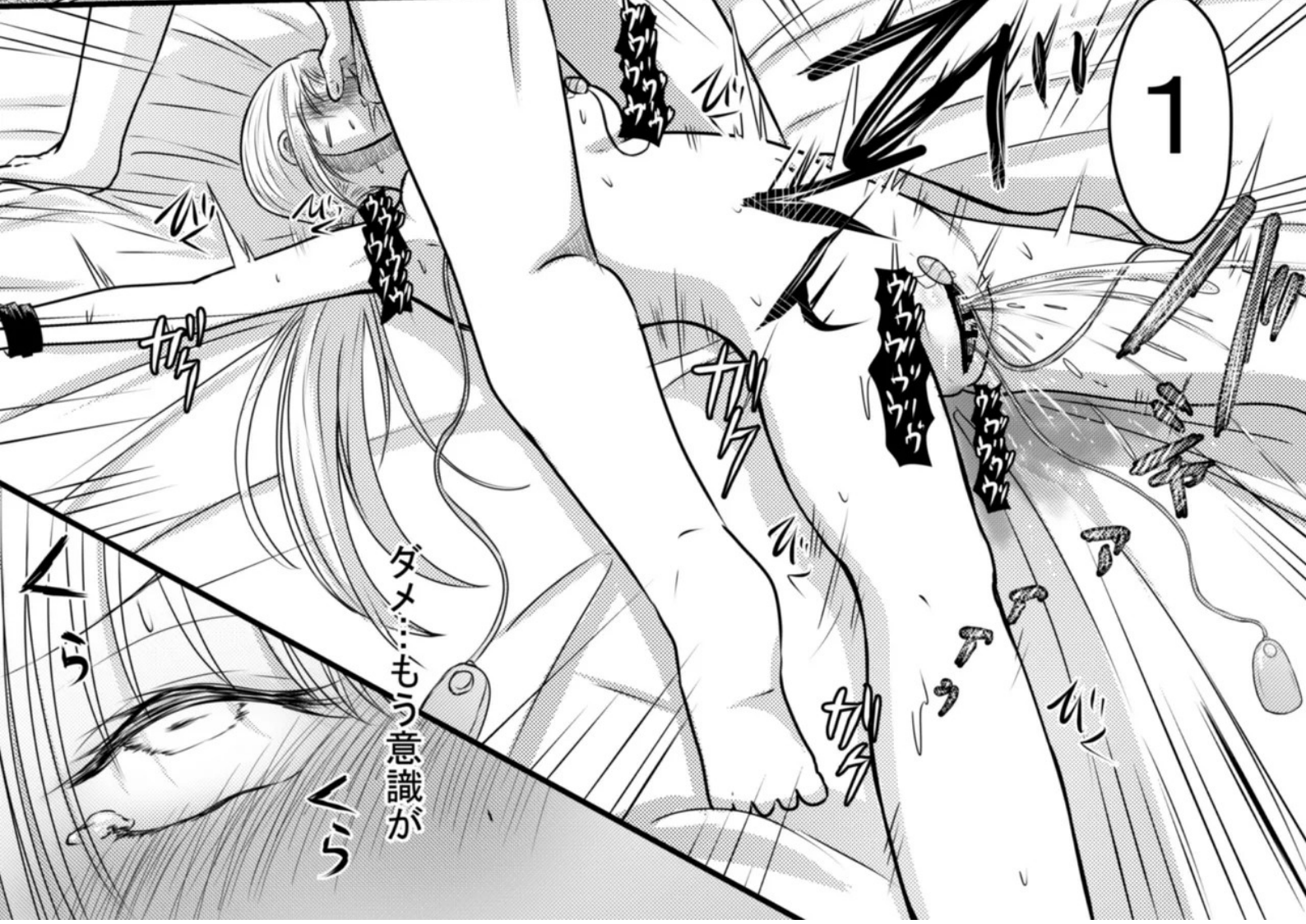


5秒!?

5秒なんて無理!!

この状態を
5秒保ちなさい

苦しい...!!やめて
やめて!!





いや...!!
やめてもう許して!!
死んじやう!!
ほんとに死んじやうから!!

ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ



助けて!!
翔也君!!



許して...
もう許して!!
おじさんの言うこと
何でも聞くから!!

翔也君!!
翔也君!!

嫌!
死にたくない!!



ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ



死んじや
ちゅぽ
ちゅぽ



死んじや
ちゅぽ
ちゅぽ



ひどいよ…お母さんもおじさんもずっとあたしのこと騙してたんだ

はっはっはっはっ懐かしいな

あの時と同じだなこなみ

固定パイプとイラマチオを同時にした後

お前は泣いて気絶した

その翌日からだったよお前が声をしなくなったのは

そしてお前は
そのことを覚えては
いなかった

やっぱりそうなんだ

ごめん翔也君…
あたしの病気

だがこなみ

おじさんとお母さんの
せいであったよ

その様子だと
昔のことを思い
だしたみたいだな

ならもう
わかってるな？
いれるぞ

さあ
広げなさい

嫌だけど

ここを断ったら
何されるかわからない

いい子だ



何これ…ずっとイカされてた分
身体が敏感で

突かれるたびに
すぐイキそうになる

こんなに身体を
びくつかせて

いや…
言わないでえ…

お前が立派なメスに
なって俺は嬉しいよ

こなみはまんこも
優等生だな
こんなに気持ちいい
まんこは久しぶりだ

こなみもそう
なんだろう？

あたしには翔也君
がいるのに…気持ちよく
なっちゃだめなのに

身体がいうこと聞かない

おじさんの
セックス…
優しくて
気持ちいいよ

こんなのだめなのに…
翔也君とじゃないと
しちやいけないことなのに

でも足りない…

だめ…我慢できない…

でも…言えない…

おっぱいもおまんこも
いじめられたい…

だから
自分でするなら
いいよね…

さっきみたいに
ひく

すくすく

すくすく

すくすく

だから

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく

はあ

はあ

はあ

はあ

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく

すくすく





早速いったみたいたが
終わらないぞ

これはお仕置きた

壊れるまでいく
といい

いやいやいや！
おまんこ壊さないで……！！

壊れたら翔也君の
赤ちゃん産めなくなっちゃう……！！

またいつちやった
身体があつい……

もうだめ……頭真っ白に
なって何も考えられない

ズパッ……
いやっまた



こなみのその敏感さは
母親譲りのようだな

すちゅ

すちゅ

次は子宮を直接
ついでやる

んあぁ♡♡

こなみ...

あれ？今あたし
声でた...？

ふはははは

ひあん

あんっ

いいぞこなみ！！

あぁ





声が出せるようになった
ご褒美をあげないとな

ウウウウウウウウウウ

やめっ

今...それ
当てられたらっ

はあ

あたし...ッ

さすが
優等生だ

声がでなくとも
日々発声練習を
していたもんな

ググググググググググ

いや
やめて...

きちんと発声
できてえらいぞ

さあご褒美だ



んあ

どうだ?
気持ちいいだろ?

はち

中と外からの
同時攻めだ

はち

はち

あゝあゝ

いやあ



これに耐えられない
女なんかない

気持ちよすぎて
頭おかしくなる

ごんごんの無理い!!

こなみ!急に
締め付けるな!

おぎん

おぎん

んんん

だめだ出すぞ
こなみ!!

すっ
すっ

らめっ
抜いへっ

いやあああ〜っ

ひゅるるるるる

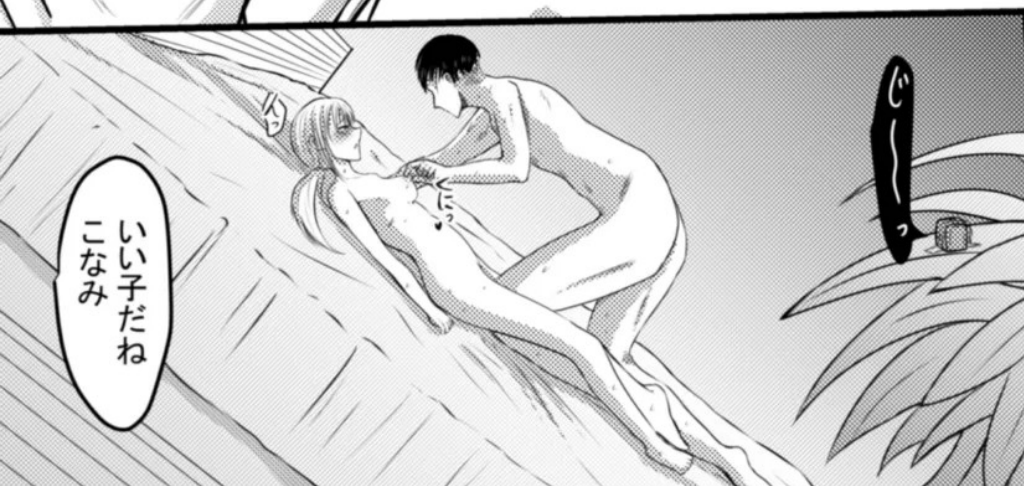
あたし…中に出された…

ごめんね翔也君…

あたしの中…おじさんに
汚されちゃった…

こなみお前にはまだ
お仕置きが必要
みたいだな

お仕置き…??



ごめん声が聞きたくなって

そろつかでも悪い
まだ時間かかりそう
なんだ

でもなるべく早く
帰るからさ待ってて
くれるとうれしいな

いやっ...やめて

帰りにケーキ買って
くから二人で
たべような

いや...声...
出ちゃうよ...

少しでもこなみ
と一緒にいたいんだ

ワガママかも
しれないけど

大事にされてる
じゃないか

もっと翔也の声
聞きたいだろ？

ごめん声が聞きたくなって

楽しみにしてる

けどあと少しだけ
声聞かせて？



今テレビつけてて
音がおっきかったみたい

そっか...あつ先生
来たから

また後でな

随分感じてるな
こなみ

やはりお前は
変態なんだよ

あたしっ
へんたいじゃ

ない...ッ

なんで...

知ってるッ

の...ッ

いいやお前は変態だ
毎日オナニーしている女
なんてのは滅多にいない

お前はおもちゃの
数も多いしな

お前の部屋は俺が
四六時中録画
しているからな

どうして...んッ
そんなことするのっ

お前の部屋は俺が
四六時中録画
しているからな



だらしない
表情をして



ズチュ

ズチュ

ズチュ

下品に愛液を
垂れ流し



だがどうだ今は？
かわいらしく喘ぎ

むに

むに



違うっ！
気持ちよくっ

なあって…んッ
ない！

あたしが好きなのは
翔也く…んッ

だからあつ

おじさんで気持ちよく
なっちゃ…あッ

らめッなのおッ

そうかならこなみ
が気持ちいいと
認めるまで

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

ドチュ



